

科目名		循環器学特論	
科目責任者		片岡雅晴（第2内科学 教授）	
開講時期：1～2年次		単位数：6 単位	時間数：90分× 45 回
● 科目の教育目標 一般目標（GIO） 循環器疾患が症例にどのような影響を与えているか？最新の検査法により評価し病態生理の理解を深める。最新の治療が症例に及ぼす効果を評価し、治療への理解を深める。新たな診断（検査）・治療を考案する。 行動目標（SBOs） 1) 不整脈の発生原理と解剖学的局在を説明できる。 2) 左室拡張能と僧帽弁血流パターンとの関係を説明できる。 3) 血管内超音波(IVUS)および冠血流予備比 (FFR)による冠動脈狭窄と虚血評価の原理を説明できる。 4) 心拍数増加作用以外のペーシングの心臓への影響を説明できる。 5) 弁膜症における心臓内相互干渉を説明できる。 6) 動脈硬化リスク因子とそれぞれの冠動脈に及ぼす効果の特徴を説明できる。 7) 肺高血圧症の発生機序と病態を説明できる。 8) 失神の原因と診断のプロセス・治療について説明できる。 9) 遺伝子異常を伴う循環器疾患の内因性機序を説明できる。			
● 評価方法		プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する。	
● 参考文献		講義の中で必要に応じ紹介する。	

授 業 項 目 (内 容)
不整脈発症基質の解剖・病理
不整脈発症基質の電気生理
ペースメーカーの原理・機能
心臓ペースング時の伝導
心臓ペースングの心臓に及ぼす影響
左室拡張能の心エコーによる評価
左室・僧帽弁連関
心機能評価(左室容量測定の原理と限界)
弁膜症手術の心臓へ与える効果
虚血性心疾患の血管病理
虚血性心疾患の血管生理
冠動脈ステント治療後の血管病理
血管内超音波(IVUS)・OCT法・FFR(アンギオおよびCT)の原理
動脈硬化リスク因子と血管病理
慢性腎疾患(CKD)と血管病理